

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 山崎保育園

発効：平成23年2月10日（平成26年2月9日まで有効）

福祉サービス第三者評価機関
一般社団法人神奈川県介護福祉士会

一般社団法人神奈川県介護福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	シヤカイフクシホウジンカナガワロウドウフクシキョウカイ ヤマザキホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	社会福祉法人神奈川労働福祉協会 山崎保育園
事業所住所 最寄駅	〒247-0066 鎌倉市山崎1148 湘南モノレール線 富士見町駅下車 徒歩5分
事業所電話番号	0467-45-6440
事業所FAX番号	0467-55-8626
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 関場 俊子
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人神奈川労働福祉協会 法人代表者氏名 理事長 足立 まこと
URL	
e-mail	yamazaki-hoikuen@k-roufukukyo.jp
問合せ対応時間	8:30~17:00

事業所の概要1

開設年月日	平成20年4月1日
定員数	90名 (待機児枠拡大で103名迄受け入れ) (本年4月1日の在籍園児年齢①3歳未満:37名②3歳以上:64名)
都市計画法上の用途地域	第1種住居地域
建物構造	軽量鉄骨造り 平屋建て
面積	敷地面積 (1,317.90) m ² 延床面積 (517.82) m ²

事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	45名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (1名) 保育士 (23名) 保育補助 (3名) 朝夕保育補助 (12名) 栄養士 (1名) 調理員 (1名) 調理補助 (3名) 事務員 (1名)

事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後2ヶ月~小学校就学未満	
延長保育の実施	有	備考:
休日保育の実施	有	備考:
一時保育の実施	有	備考:
障害児保育の実施	有	備考: 受け入れ可能だが現在までなし
病後児保育の実施	無	備考:

保育の方針

法人の保育基本理念『子どもたちの「今ここに生きる」を大切に、1人1人がかけがえのない存在と感じて自信を持って生きていく力をそだてます』を基に、山崎保育園は「遊ぶの大好き!ともだち大好き!食べるの大好き!」な元気な子どもを育むことを目指しています。

一般社団法人神奈川県介護福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

優れている点・独自に取り組んでいる点：

- 民営化されて3年目を迎え、法人の保育基本理念に『子どもたちの「今ここに生きる」を大切にし、一人ひとりがかけがえのない存在と感じて、自信を持って生きていく力を育てる』ことを掲げ、一人ひとりの子どもの心に寄り添った保育を実践している。
- 乳児クラスは複数担任制をとり、毎日、クラスの話し合いを行い、月に1回、乳児会議を開催している。幼児クラスは幼児会議を月1～2回及び随時開催している。職員全員が毎日ミーティングノートを確認し、一人ひとりの子どもの発達段階を把握し、情報を共有している。
- 保護者と一緒に考え、保護者と一緒に園を作り上げている。全園児に連絡帳を用意し、送り迎えの際には、保護者とのコミュニケーションを密に取るようにしている。一日の活動の様子や連絡事項を各クラスの掲示板や懇談会で伝え、保育参観で子どもたちの姿を見てもらっている。
- 天気の良い日には、できるだけ外で活動するようにしている。自然に恵まれた環境を活かし、近所の公園や中央公園、天神山などへ出掛け、探索活動を行ったり、生きものや草花と触れ合う機会を持つことができるようにしている。個々の発達に合わせて、リズム遊びや竹馬など、体を楽しく動かす活動を取り入れている。
- 園外活動では、地域の人々との触れ合いを大切にしている。挨拶などを通して、地域との触れ合いを持ち、人との関わりが持てるようにしている。また、月に1回、地域活動日を設け、地域の親子と定期的に交流している。
- 朝夕や土曜日、また散歩や和太鼓の練習などで、異年齢の交流を行っている。異年齢の交流では、自分より小さい子や大きい子と関わることで、いろいろな姿を見て感じとり、接していられるように配慮している。
- 年間を通して、和太鼓の取り組みを定期的に行っている。納涼会や運動会など年3回の発表に向けて、専門の講師の指導を受け、幼児が練習をしている。乳児はミルク缶を太鼓の代わりにして、幼児の姿を真似て和太鼓に親しんでいる。
- 3歳の途中から、当番活動を行っている。人のために頑張る機会を作り、役割を楽しくできるようにしている。乳児も保育士の後について、お手伝いを行っている。
- 法人内の4園の栄養士が合同で給食会議を開き、バランスの良い食事の提供ができるよう、アイデアを出し合っている。月に1回程度、5歳児を対象にして調理保育を行う他、紙芝居などの教材を使用して、食育に楽しく取り組める工夫をしている。玄関にその日の給食や離乳食のサンプルを置き、保護者に伝えている。
- 園庭に、夏ミカンやザクロ、栗、ブルーベリーなどの果樹があり、畑やプランターで、サツマイモやナス、トマトなどの野菜を栽培している。子どもたちが観察や水やりを行い、収穫の喜びや食べる楽しみを味わうことができるようにしている。
- 一時保育や延長保育、土曜日・日祭日の休日保育を行い、地域の保育ニーズに応えている。一時保育のクラスは登降園の時間がまちまちのため、専用の入口を設けている。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○園児や保護者に対しての適切な言葉遣いや態度については、「人権侵害等の防止についてのマニュアル」を定め、職員会議で周知している。「人権チェックリスト」で確認を行いながら、職員全員が共通認識を持ち、保育に取り組んでいる。 ○個人情報の保護、守秘義務については、「守秘義務(プライバシー)への注意」に明文化し、個人情報の取り扱いに留意している。パソコン内の個人情報の取り扱いについても話し合いを行い、新人研修では、園外で子どもの話をしないよう周知している。 ○職員が虐待防止の研修会に参加している。また、園長が民間園長会の代表として、鎌倉市の要保護児童に対する検討会に出席し、情報交換を行っている。 ○実習生やボランティア、見学者の受け入れにあたっては、受け入れマニュアルを整備し、守秘義務について説明するなどして、徹底をはかっている。
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢の交流を通し、大きい子が小さい子の面倒をみたりする中で、お互いを認め、相手の気持ちを受け止め、自分の思いを出せる保育に取り組んでいる。 ○当番や係りの役割を担うことで、人のために頑張る機会を多く設けている。朝の会などで、皆の前で発表したりすることで、子どもたちが自主的に話ができる取り組みを行っている。 ○家庭との連絡・情報交換は、全園児に連絡帳を用意し、一日の活動の様子や連絡事項を各クラスの掲示板に記載し、登降園時に保護者が確認できるようにしている。 ○クラス懇談会を年3回開催し、保護者の意見・意向を把握できるようにしている。行事についてのアンケートや、年2回、全保護者を対象に二者懇談会を行い、保護者の意向を把握している。 ○保護者からの意見・要望は「保護者の声ファイル」にまとめ、受け付けた意見・要望については、必ず回答するようにしている。
3	サービスマネジメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ○苦情への対応は、マニュアルや様式を定め、相談受付窓口及び相談事解決責任者、第三者委員の設置を園内に掲示し、取り組みの内容を保護者に知らせている。 ○消毒薬などの危険物は保管場所を定め、「消毒液交換チェック表」にチェックすることで、安全な取り扱いや管理を行っている。 ○園児が触れるおもちゃ、タオル、布団、砂場などの除菌・消毒、遊具の安全点検については、マニュアルに管理方法を定め、点検実行記録をつけて、衛生面・安全面の管理を行っている。 ○防火・防災・防犯対策については、年間計画を作成し、毎月1回、避難訓練を実施している。
4	地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○散歩や園外活動を積極的に行い、子どもたちが地域の方と触れ合う機会を多く持つことができるようにしている。近くの小学校を定期的に訪問し、交流を深めている。 ○地域の子育て家庭との交流は、年間計画を策定し、地域の子どもたちと一緒に、お団子作りをしたり、遊んだりしている。交流の際には、母親同士の情報交換や、子育ての相談なども受けている。 ○地域活動として納涼会、お月見会、節分、保育の日交流会などを行っている。伝統文化継承として、和太鼓を楽しむ会を月2回行い、卒園児を中心に地域との交流を深めている。

5	運営上の透明性の確保と継続性	<ul style="list-style-type: none">○保育所保育指針に沿って、保育日誌や指導計画に自己評価(反省)の欄を設け、提供する保育サービスの評価を行っている。運営会議においても、日々の状況を皆で振り返っている。○保育園の理念や目標については、園のパンフレットに載せる他、園の玄関に掲示している。また、鎌倉市のホームページに園の事業内容を載せ、地域からの理解を得られるようにしている。○保護者に保育園での子どもたちの様子を見てもらう機会として、保育参観を実施し、「園だより」や「給食だより」を毎月発行して、保育園での様子を伝えている。
6	職員の資質向上促進	<ul style="list-style-type: none">○保育園の目標は、法人の理念に沿って、職員が作成している。職員会議や新人研修で、園の理念や目標について周知を図っている。○年間の職員研修は、法人研修事業計画や山崎保育園研修計画を立て、計画的に実施している。○外部研修に参加した時には、会議等で研修報告を行い、報告書は研修関係ファイルに綴じ、いつでも閲覧できるようにしている。

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体（調査確認事項全80事項）を通してのサービスの達成状況	99%
--	------------

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士との かかわりにおいて、子 どもの情緒の安定をは かることや、順調な発 育・発達を促すため にどのような取り組み をしていますか</p>	<p>①一人ひとりの発達段階を把握し、クラス で話し合い、全体の会議の中でも確認 し合い援助しています。 ②子どもの気持ちに寄り添い、スキンシ ャップも大切に、情緒の安定が保てる ようにしています。 ③一人ひとりの様子をしっかり見て、保 護者とも話し合いをしながら、生活リ ズムを整えています。</p>	<p>① 保育士の共通理解については、乳児ク ラスは複数担任制をとり、毎日、クラス の話し合いを行っていること、月に1回 乳児会議を行っていること、幼児クラス は、幼児会議を月1～2回及び随時開 催していること、毎日全職員がミーテ ィングノートを確認し1人1人の子ども を把握していること、カリキュラム会議 や職員会議で内容を報告していること を、「職員会議録」で確認した。 ②情緒の安定が保てるような取り組みに ついては、乳幼児クラスともスキンシ ャップを大切に、乳児クラスでは朝、 保護者から離れられない子どもに十分 納得させた上で預かっていること、幼 児クラスでは子どもの個性やその日 の様子を把握するように留意している ことを、「保育日誌」や写真、訪問調 査当日の保育士の関わり方で確認し した。 ③生活リズムを整える取り組みにつ いては、朝夕の送迎時に保護者とやり 取りを密にしていることを、「連絡帳」 や「掲示ノート」で確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわ りにおいて、個の違 いを認めあうことや 他者と自分を大切 にする心をもてる ようにするため にどのような取 り組みをして いますか</p>	<p>①異年齢との交流で、自分より小さい 子、大きい子と関わり、いろいろな姿 を見て感じとり、接していかれるよ うに配慮しています。 ②友だちとの関わりの中、相手を知り 、認め合ったりできるように援助して います。 ③子どもの気持ちを受け止め、安心し て自分の思いを出せるようにしてい ます。</p>	<p>①異年齢の交流については、朝夕や土 曜日に合同保育を行っていること、 散歩や和太鼓の練習などで、異年 齢の関わりを持っていることを、「保 育日誌」や写真、園庭及び保育室の 様子観察で確認した。 ②相手を認め合うような援助につ いては、保育士が手本を示したり、 関わりの方がうまくできない時は 保育士が中に入って援助している ことを、「保育日誌」で確認した。 ③安心して自分の思いを出せるよ うな取り組みについては、幼児ク ラスでは、朝の会などで意見を言 えるように援助していることを、「 保育日誌」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと社会とのかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①お手伝い～お当番・係りと、人のために頑張る機会を作り、役割を楽しくできるように援助・配慮しています。</p> <p>②生活や遊びの中で、ルールを守り、協力し合うことが楽しい！につながることを伝えています。</p> <p>③挨拶などを通して、地域との触れ合いを持ち、人との関わりを大切にしていけるように配慮しています。</p>	<p>①お手伝いや当番活動については、3歳の途中から当番活動を行っていること、当番は年齢によって役割を変えていること、乳児も保育士の後をついて、お手伝いを行っていることを、「保育日誌」や写真、昼食時の当番活動の様子観察で確認した。</p> <p>②ルールを守り、協力し合うことへの取り組みについては、遊びの中や一日の生活の流れの中で保育士が意識して伝えていること、4、5歳児は自分たちで考えられるようにしていることを、「連絡帳」や「保育日誌」で確認した。</p> <p>③地域との触れ合いについては、老人ホームや小学校などへの訪問を行っていること、公園などで近所の人と触れ合っていること、年長児が近所のお店に買物に行ったことを、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①ごっこ遊びを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにしています。</p> <p>②絵本や紙芝居などを通して、物語・言葉の楽しさを知り、想像力を高められるようにしています。</p> <p>③子どもの話を丁寧に聞き、自分の思いを言葉で表現できるように援助しています。</p>	<p>①ごっこ遊びについては、乳児クラスではお母さんごっこやおままごと、幼児クラスではお店屋さんごっこや買物ごっこなどを行っていること、自由遊びの中で保育士が遊びを働きかけていることを、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②絵本や紙芝居などの実施については、午睡前後やホールに集まる前の導入に行っていること、絵本は保育室や廊下に置いてあることを、「保育日誌」や写真、園内の様子観察で確認した。</p> <p>③自分の思いを言葉で表現できるような援助については、保育士が言葉を付け加えたり、表現できる雰囲気を作っていることを、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①安心して話ができる雰囲気を作り、楽しくコミュニケーションできるように関わっています。</p> <p>②話そうとする姿を見守りながら、みんなの前で発表する機会を作ったり、子ども言葉をじっくり引き出せるように関わっています。</p> <p>③みんなで協力して、考えていけるように、話し合いを大切にしています。</p>	<p>①楽しくコミュニケーションができるような関わりについては、おやつ前などに保育士がフォローしながら話す喜びを味わえるようにしていることを、「保育日誌」や「一時保育日誌」で確認した。</p> <p>②みんなの前で発表する機会の設定については、家庭での様子や休日の出来事を皆の前で話すことができるよう、保育士が働きかけていることを、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③話し合いの大切さについては、行事の役割や進め方などを保育士が投げかけ、皆が話し合いができるように援助していることを、「保育日誌」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①季節や年齢に合わせた歌や、経験したことや感じたことを、描画などで表現しています。</p> <p>②リズム遊びや太鼓では、発達に合わせて、楽しく体を動かすことを大切にしています。</p> <p>③泥んこあそび・水あそびなどを通して、感触を楽しみ、五感を働かせる遊びを取り入れています。</p>	<p>①季節や年齢に合わせた歌や描画などの取り組みについては、季節に合わせた作品を作ったり、遠足の後などに経験したことを描いていること、季節の歌も決めて歌っていることを、「掲示ノート」や園内に展示された作品などで確認した。</p> <p>②リズム遊びや太鼓への取り組みについては、幼児クラスでは週1回合同でリズム遊びを行っていること、納涼会や運動会の発表に向けて、和太鼓の練習を定期的に行っていることを、「保育日誌」や訪問調査当日の子どもたちの和太鼓の練習で確認した。</p> <p>③泥んこ遊びや水遊びについては、年間を通して子どもたちが砂場に水を運び楽しんでいること、乳児も一緒に砂場で遊んでいることを、「保育日誌」や写真、園庭の砂場の様子観察で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①ごっこ遊びを楽しめるように、環境設定(遊びの設定や玩具の準備)を行っています。</p> <p>②みんなでイメージを広げて、折り紙や描画を楽しみ、作り上げていく達成感を味わえるようにしています。</p> <p>③友だちと一緒に、制作や劇あそびなどを楽しみ、その気持ちを共有できるように援助しています。</p>	<p>①ごっこ遊びの環境作りについては、保育室にコーナーを作り、子どもたちが好きな遊びを選ぶことができるように工夫していることを、「保育日誌」や保育室の様子観察で確認した。</p> <p>②折り紙の取り組みについては、コーナーを作り楽しむことができるようにしていること、子どもたちに最も人気のあるコーナーであることを、「保育日誌」や保育室の様子観察で確認した。</p> <p>③制作活動や劇遊びについては、絵本を見たり遠足や納涼会などから、劇ごっこ、劇遊びに発展していることを、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①探索活動が沢山できるようにし、子どもの気づきや探究心を大事にしています。</p> <p>②散歩やリズムなどで、友だちと一緒に体を動かす活動を大切にしています。</p> <p>③五感を働かせることができる活動(太鼓・散歩・リズム・栽培など)を取り入れています。</p>	<p>①探索活動については、天気が良い日にはできるだけ外に出るようにしていること、近所の公園や中央公園、天神山などへ散歩し探索活動ができるようにしていることを、「掲示ノート」や「保育日誌」で確認した。</p> <p>②体を動かす活動への取り組みについては、散歩やリズム遊びを行い、体を動かす活動を大切にしていることを、「連絡帳」や「保育日誌」、写真で確認した。</p> <p>③五感を働かせることができる活動については、和太鼓などの活動を多く取り入れていることを、「保育日誌」や運動会の発表に向け和太鼓の練習を行っている場面で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①飼育や散歩を通して、小動物・虫・植物の触れ合いを大切にしています。 ②畑や果樹など、子どもたちが育てたり収穫して、関心を持てるようにしています。 ③子どもの疑問にしっかり応え、自分でも図鑑などで調べられるように、環境設定をしています。</p>	<p>①小動物との触れ合いについては、園内で金魚やザリガニなどを飼育していること、自然が豊かな環境の中、散歩などで小動物に触れ合う機会が多いことを、「保育日誌」や園内の小動物の飼育で確認した。 ②野菜の栽培については、園内の畑やプランターで、さつまいもやキュウリ、ナスなどを栽培していること、幼児クラスが水遣りをして育て、乳児は様子を見学していることを、「保育日誌」や写真、園庭の様子観察で確認した。 ③図鑑類などの利用状況については、廊下の絵本コーナーから、子どもたちが図鑑類を積極的に活用し、興味のあることを調べていることを、絵本コーナーで確認した。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①遊びを充実させ、楽しい雰囲気の中で食事をするようにしています。 ②野菜の栽培を楽しみ、収穫したものをみんなで味わっています。 ③個々に合わせた声かけをして、排泄の快・不快を知らせています。</p>	<p>①楽しく食事ができる取り組みについては、乳児クラスでは無理に食べさせず、子どもに合わせて量を調節していること、幼児クラスではたくさん動いて、食べたい気持ちにつながるようにしていることを、「連絡帳」や保育室での食事の様子観察で確認した。 ②野菜の栽培や収穫については、園庭やプランターで野菜を栽培し、給食に取り入れるようにしていること、5歳児を対象に月1回程度、調理保育を行っていることを、「保育日誌」や写真、園庭の様子観察で確認した。 ③トイレトレーニングについては、乳児クラスではトイレで排泄ができた時には、気持ち良かったねと声掛けしていることを、聞き取りで確認した。乳幼児クラスのトイレを確認した。</p>
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①自分でやろうとしたり、一人でできた時には、一緒に喜び、ほめてあげています。 ②バランスの良い食事を心がけ、栄養の大切さを知らせています。 ③十分に体を動かした後は、休息することで、回復していくことを知らせています。</p>	<p>①意欲を高めるための関わりについては、衣服の着脱などが自分でできた時には、その都度ほめ、子どもたちの意欲が高まるようにしていることを、「連絡帳」や「一時保育連絡カード」で確認した。 ②バランスの良い食事の提供については、法人内の4園の栄養士が給食会議を開き、アイデアを出し合っていることを、「献立表」で確認した。 ③休息の大切さについては、眠れなくても横になることを教え、休息の大切さを教えていることを、午睡の様子観察で確認した。</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①散歩を大切に、鎌倉の自然と触れ合い、友だちと一緒に楽しみながら、いろいろなことを学んでいきます。</p> <p>②幼児は和太鼓に取り組み、年に三回、行事の中で発表しています。乳児は幼児の練習を見ながら和太鼓に親しんでいきます。</p> <p>③野菜の栽培や調理保育などを通して、食育に楽しく取り組める工夫をしています。</p>	<p>①自然との触れ合いについては、天気の良い日には、できるだけ外にできるようにしていること、近所の公園や中央公園、天神山などへ散歩し探索活動ができるようにしていることを、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②和太鼓の取り組みについては、幼児は年3回の発表に向けて、和太鼓の練習をしていること、乳児はミルク缶を太鼓の代わりにして、幼児の活動を真似ていることを、「太鼓練習日年間日程」や和太鼓の練習をしている子どもたちの様子観察で確認した。</p> <p>③食育の取り組みについては、内容が理解できる4、5歳児を対象にして、紙芝居などの教材を使用して行っていること、サツマイモやナスなどの野菜を栽培していること、それを利用して、「調理保育(お泊り保育を含む)」を行っていることを写真や日誌で確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①英語しか話せない園児対応として、通訳ボランティアを要請して、困っていることなどがなかったかを確認しました。</p> <p>②個別支援が必要な園児に対して、市が療育相談(心理・言語・リハビリ)の巡回を行っています。助言をもらったり、早期発見に努めています。</p> <p>③乳児保育・長時間保育・延長保育を実施し、年齢・発達に合わせて、ゆったりした雰囲気の中で、遊びを楽しめるようにしています。</p>	<p>①通訳ボランティアについては、5歳児1名を対象にして、今年度1回実施したことを、「市民通訳ボランティア要請書」で確認した。</p> <p>②市の療育相談については、年3回巡回相談を行っていること、巡回相談は必要な時に申し込むことができることを、「22年度民間保育園巡回相談について」で確認した。</p> <p>③長時間保育や延長保育の取り組みについては、長時間保育は30人以上が利用していること、延長保育は、18～19時は15～16人、19～20時(夕食付き)は月に5～6人程度の利用があることを、「延長保育」で確認した。</p>
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>①アレルギー児には除去食・代替食を提供し、職員全員に周知しています。</p> <p>②離乳食は個々の発達に合わせて、4段階に分けて進めています。</p> <p>③体調の悪い子に合わせて、離乳食・おかゆなどの対応や、事務所で静かに休息できるように配慮しています。</p>	<p>①アレルギー児への対応については、除去食・代替食を提供し、職員全員に周知していること、食事の際の座る席にも配慮していることを、「アレルギー対応一覧」で確認した。</p> <p>②離乳食への取り組みについては、保護者と話し合いを密にとり、常にコミュニケーションに配慮して行っていることを、「0歳児連絡帳」や「離乳食について」で確認した。</p> <p>③体調不良児の対応については、朝の送り際に保護者から様子を伝えてもらっていること、日中の様子にも気を付けてい</p>

		ることを、聞き取りで確認した。
項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
食に関する特徴的な取り組みについて説明してください	<ul style="list-style-type: none"> ①野菜の栽培を幼児が行い、乳児も育ちを見ていきます(収穫して給食に取り入れる、調理保育で使用する、家庭に持ち帰り食べるなどしています)。 ②調理保育や、自分たちで配膳をするなどを通して、食べる楽しさを体験しています。 ③行事食(バイキング等)や、旬の食材に触れたり話をすることで、食に関心を持てるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ①野菜の栽培については、園内で野菜を栽培し、収穫したものは給食に取り入れたり、家庭にも持ち帰っていることを、「野菜栽培予定表」や「保育日誌」で確認した。 ②食べることの楽しさについては、年間食育カリキュラムに沿って調理保育を行っていること、食事の際には、子どもたちが配下膳を行っていることを、「保育日誌」や保育室の様子観察で確認した。 ③食に関心を持てるような取り組みについては、4園の栄養士で話し合いを行い、行事に合わせておやつを工夫したりしていること、食材に触れることなどで食に関心を持てるようにしていることを、「保育日誌」や写真で確認した。
家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください	<ul style="list-style-type: none"> ①連絡帳で園の様子を伝えていき、必要に応じて個人面談を行い、送迎時に保護者と子どもの様子を伝え合っています。 ②クラスでその日の活動・連絡事項を掲示板で伝えていき、懇談会・保育参観で様子を伝えたり、実際に姿を見てもらっています。 ③園だより・給食だよりを配布しています。給食の試食会を行ったり、保護者との二者面談会で保育に関する意見交換を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保護者とのコミュニケーションは、送迎時の保護者とのやり取りや連絡帳で、子どもの様子を伝え合うようにしていること、必要に応じて個人面談を行っていることを、「連絡帳」で確認した。 ②子どもたちの活動の様子は、その日の活動や連絡事項を、各クラスの掲示板に記載していること、懇談会や保育参観を実施していることを、「クラス別懇談会報告」や各クラスの掲示板の内容で確認した。 ③園だよりなどの配布については、園だより、給食だよりを毎月配布していること、給食の試食会を実施していることを、「園だより」や「試食会」などで確認した。
地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください	<ul style="list-style-type: none"> ①地域ボードにて情報提供を行い、子育て相談を電話で行ったり、活動に参加した時に話を聞いて交流しています。 ②預かり保育(一時保育)・休日保育を行っています。 ③地域活動日(季節の行事を含む)を設定し、園児と一緒に遊んだり、保育士と交流しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域への情報提供や子育て支援については、園の入口に地域ボードを設置し情報を提供していること、地域の子育て相談を行っていることを、地域ボードで確認した。 ②預かり保育・休日保育については、一時保育は一日5～6人程が利用していること、土曜保育は在園児や一時保育の子どもたちが利用していること、日祭日の休日保育は法人の他園の協力も得ながら、鎌倉市の保育園を利用している子どもを

		対象にして行っていることを、「一時保育のしおり」や「休日保育のご案内」、で確認した。 ③地域活動の取り組みについては、月に1回地域活動日を設定し、在園児と地域の子どもたちが一緒に活動していることを、「地域活動予定」などで確認した。
--	--	--

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成22年6月 ～ 平成22年7月
調査方法	所定の調査票(アンケート票)により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を経由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 60通 : 返送通数 53通 : 回収率 88.3%

(2) 調査結果の傾向

◆アンケート調査全体の傾向

- 項目別の回答状況では、「園の保育方針や保育内容の周知」や「在園中の体調不良やケガの説明」、「子どもが楽しく過ごしている」について、高い満足が得られている。
 一方、「保育内容に関する要望に対しての速やかな回答」や「懇談会など園との意見交換」、「園舎等の設備管理」、「防犯対策」、「緊急時の連絡体制」などについては、より一層の努力が期待されている。
- 個別意見では良い点として、「保育士の対応が良い」、「クラスに関係なく保育士が子どもや保護者に声を掛けてくれる」、「保護者の意見を取り入れている」、「延長保育や休日保育が良い」などが挙げられている。
- 保育内容では、「子どもの個性を大切にしている」、「子どもがのびのびと過ごしている」、「外遊びや散歩が多い」、「給食がおいしい、食育に力を入れている」などに、多くの意見が寄せられていた。
- 一方、改善を望む点としては、「保育士の関わり方」、「躰なども考えてほしい」、「保育士の退職に伴う不安の解消」、「保護者に対しての説明や対応が遅い」、「行事の開催日を考慮してほしい」などの意見が挙げられていた。
- 全体を通して、日常の保育や園児の様子から、園の姿勢や取り組みが保護者に伝わり、支持されていることが推察される。保護者の意見を取り入れ、外遊びや散歩を多く実施している。子どもの個性を大切にしながら、のびのびと過ごすことができる保育の取り組みが保護者に支持されていることがうかがえる。
- また、園に改善を望む点について、保育士の関わり方などが挙がっており、今後の取り組みの課題として位置付けることを期待する。